

『大空町議会行政視察調査報告会』における主な質問・意見等

会 場	期 日	時 間	参加者		
			町 民	議 員	計
大空町議事堂文化ホール (役場庁舎1階)	平成23年2月17日(木)	18:30~20:45	19人	12人	31人
質問・意見等 要旨			答弁 要旨		
<p>今回だけではなく、大空町、昔で言えば女満別町に、何かを取り入れようとして行うもので、まったく関係のないところへ行っても意味がない。これまでの視察調査の内容が、町の施策などに取り入れられているような事例があるのか。視察調査内容をどのように活かしているか、具体事例を示して欲しい。</p>			<p>具体事例を挙げるのは難しいが、町内だけでなく色々な目線で見ると、先進事例と同じものを取り入れるのではなく、それを参考にし、町のニーズにあった形につくりあげていくのが、一つの課題かと思う。</p>		
<p>過去にも視察報告が議会広報誌に掲載されていたが、『こうだった。』『ああだった。』といったことは書いてあっても、その内容を町にどう結びつけていくかということが、何も記されていない。それだけで終わっては、何の意味もない。町につないでこそ、初めて意味をなすものになる。</p> <p>総務文教厚生常任委員会の視察報告については、今、まさにドリーム苑の改修の話もあり、そういった意味で生きた視察であるように思う。</p> <p>過去に、一般質問で鹿児島県知覧特攻平和会館へ行ったという話もされていたが、それをどう結びつけるか。ただ視察に行き、行った議員だけが『すばらしかった。』というだけでは意味をなさない。費用対効果を考えるべき。</p>			<p>成果に対する報告がなされていない現状があるので、今後検討していきたい。</p> <p>視察において得た情報など、行政・執行側に意見として発言させていただいている。何も行っていないということではないと考えている。</p>		
<p>福祉・医療などの関係では、一般質問などで近隣町村の動向と対比しての質問などがあつたが、産業部門に関して、そういった事例があつたという記憶がない。視察に当たり、地元の意見を聞いた経過はあるのか。</p> <p>なぜ、オホーツク管内などの近隣へ目を向けず、他都府県のほうばかりへの視察になるのか。地域の、例えば美幌・津別との『たまねぎ振興会』など、オホーツク圏・地域として(産業を)発展させていくような考え、必要はないのか。</p>			<p>議会として、道外1回、道内2回の研修と決め、予算組みしている。道外については、道内の状況と異なる部分もあり、広く研鑽を深める観点で、そういった形で研修を行っている。</p> <p>定住自立圏の関係もあり、産業についても、広く地域で取り組んでいくなどの考え方も生まれてくるのではないかと思う。</p>		
<p>議会費の予算を見ると、当初から視察研修費が組まれている。必要性が生じたので、これを見に行くということであれば、2回でも3回でも研修に行き構わない。予算があるから研修に行くといった流れが、恒例になっていないか。</p> <p>インターネットなどでも、情報の収集はできる。費用対効果、厳しい町財政を考えたとき、全員ではなく一部議員が視察に行くなど、やり方を検討すれば経費も抑制できるのではないか。</p>			<p>任期4年の中、一部議員だけでということも難しい。ネットなどではなく、実際に現地等において、その状況を見ることのほうが、効果が大きいと考える。</p>		

『大空町議会行政視察調査報告会』における主な質問・意見等

会 場	期 日	時 間	参加者		
			町 民	議 員	計
大空町議事堂文化ホール (役場庁舎1階)	平成23年2月17日(木)	18:30~20:45	19人	12人	31人
質問・意見等 要旨			答弁 要旨		
<p>国会では、議員提案権があり、議決する場合がある。答弁内で『どうしようもない』という趣旨の発言があったが、それでは、何のために研修に行っているのか、といったことにもなってしまう。住民は納得せず、(議員としての?)仕事をしてもらわなければ困る。</p>			<p>議会として提案はしていない。合議のもとでの議決だけである。執行者側からの提案に基づいて討議し、議決する。議員提案はあるが、予算に関する議員提案は、行っていない(自治法において、議会からの予算提案は認められていない)。</p>		
<p>町民の信託を受けて議席を持っているわけであるから、議員として、提案をどんどんしていくべき。町民にわかる仕事をして欲しい。</p>			<p>提案は行っている。</p>		
<p>総務(文教厚生常任委員会視察の関連について)のほうは、東藻琴に障がい者関連施設整備の予定がある上で視察に行った、生きた内容だと思う。報告のあり方として、『こういった状況で、町にこのように結びつけていきたい。』といった内容であるべきで、今後、そのようにしていくべき。</p> <p>今回(の視察報告会)は、こういう形で開催されてよかった。議会広報誌で報告書載せて終わりというやり方は、好ましくない。情報公開の時代であり、住民の意見を取り入れながら、こういった場をもっと設けていくべきである。</p>			<p>視察後の、結果への結びつきがあってこそその成果だと思っている。長沼町での視察が、本町のグリーンツーリズム協議会立ち上げに、古平町での旧診療所施設再利用の計画が、今回の施設整備計画に繋がっているかと思う。議員の視点を増やすことも目的であり、持ち帰ったものを一般質問などで行政へ投げかけ、反映させなければならぬのではないかと。</p>		
<p>こういった(今回の報告会のような)場を設ける前に、(事前に町民の意見集約などを含めて?)相談すれば、参加する町民はもっと増えるのではないかと。前もって、(報告等の内容について)勉強する時間が欲しい。</p>			<p>おおよその報告は、議会だよりに掲載している。</p>		
<p>高齢者などの福祉対策など、視察先と本町とを比較して、(本町の施策などは)満足のいくものになっているのか。欠けている部分はないのかどうか。近隣町村と比較しても、本町の対策についてはどうなのか。</p>			<p>障がい者対策の部分について、本町には(施設等の)核になる部分がない。他市町村の施設にお世話になっているケースが多く、課題を解決していく必要があると考えている。</p> <p>高齢者対策としては、充実させる必要がある部分もあるが、生活支援ハウス、特別養護老人ホーム、女満別中央病院など、対策としては、一貫していると考えている。</p>		